

歯科放射線学教育の指針（2016年度改訂最終案 160930改訂）

日本歯科放射線学会教育委員会編

*マ - クは4年終了時（共用試験受験前）までに到達すべき項目

（コース）歯科放射線学

一般目標

歯科医療において、放射線を有効かつ安全に利用し、適切な画像検査と診断を行うために必要な知識、技能および態度を修得する。

（1）放射線とその防護

一般目標

歯科医療において、放射線を有効に利用し、リスクを低減するために、放射線の性質と人体に対する影響を理解し防護の方法を修得する。

到達目標

[放射線の種類、性質および単位]

- * 1．放射線の定義と分類を説明できる。
- * 2．電磁放射線と粒子放射線の発生と性質を説明できる。
- * 3．照射線量、吸収線量、等価線量および実効線量を説明できる。
- * 4．放射性同位元素と放射能を説明できる。
- * 5．放射線測定機器とその測定原理を説明できる。

[放射線の人体（胎児を含む）に対する影響]

- * 1．放射線の人体に対する影響の発現過程と分類を説明できる。
- * 2．放射線の細胞、組織および臓器に対する影響とその修飾因子を説明できる。

[放射線防護]

- * 1．放射線防護の基本概念を説明できる。
- * 2．医療被曝、職業被曝および公衆被曝を分類し、説明できる。
- * 3．放射線を用いた検査・治療の利益とリスクを説明できる。
- * 4．患者と医療従事者の放射線防護を説明できる。
- 5．歯科エックス線検査時の患者と医療従事者の防護を実施できる。

（2）歯・口腔顎顔面領域の画像検査

一般目標

歯・口腔顎顔面領域の画像検査を適切に行うために、基本的な知識、技能および態度を修得する。

到達目標

[エックス線画像形成]

- * 1 . 画像形成過程の概略を説明できる。
- * 2 . エックス線発生装置の構造と機能を説明できる。
- * 3 . エックス線投影の原則を説明できる。
- * 4 . エックス線像の被写体コントラストと画像コントラストを説明できる。
- * 5 . エックス線検出器（フィルムや増感紙を含む）の構造と性質を説明できる。
- * 6 . 撮影用器材を説明できる。
- * 7 . エックス線像の画質に関わる因子（空間分解能、濃度分解能、感度）を説明できる。
- * 8 . 画像処理（写真処理を含む）を説明できる。
- 9 . 画像処理（写真処理を含む）を実施できる。

[デジタルエックス線画像]

- * 1 . デジタルエックス線画像システムの種類と特徴を説明できる。
- * 2 . DICOM、PACS 等の医療情報システムについて説明できる。
- 3 . デジタル画像処理ができる。
- 4 . 遠隔画像診断（Teleradiology）について説明できる。

[画像検査のインフォームドコンセント]

- * 1 . 画像検査のインフォームドコンセントを行うことができる。

[画像検査時の感染対策]

- * 1 . 画像検査時の感染対策を説明できる。
- 2 . 画像検査時の感染対策を実施できる。

[画像検査の品質保証]

- * 1 . 品質保証（QA）の意義を説明できる。
- 2 . 品質保証（QA）を実施できる。

[口内法エックス線検査]

- * 1 . 検査法の種類と特徴を説明できる。
- * 2 . 検査目的に適した撮影法を選択できる。
- * 3 . 検査の手順を患者に説明できる。
- 4 . 検査を安全に実施できる。
- * 5 . 画像の良否を判断し、不良の原因と改善方法を説明できる。

[パノラマエックス線検査]

- * 1 . 検査法の特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . 検査法の適応を判断できる。
- * 3 . 検査の概要について患者に説明できる。
- 4 . 検査を安全に実施できる。
- * 5 . 画像の良否を判断し、不良の原因と改善方法を説明できる。

[顎顔面頭蓋部のエックス線検査]

- * 1 . 検査法の特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . 検査法の種類と特徴を説明できる。
- * 3 . 検査法の適応を判断できる。
- 4 . 検査の概要について患者に説明できる。

[CT]

- * 1 . 検査法の特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . 検査の適応を判断できる。
- 3 . 検査の概要について患者に説明できる。

[歯科用コーンビーム CT]

- * 1 . 検査法の特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . 検査の適応を判断できる。
- 3 . 検査の概要について患者に説明できる。

[MRI]

- * 1 . 検査法の特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . 検査の適応を判断できる。
- 3 . 検査の概要について患者に説明できる。

[超音波検査法]

- * 1 . 検査法の特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . 検査の適応を判断できる。
- 3 . 検査の概要について患者に説明できる。

[造影検査法]

- * 1 . 造影検査法を列挙し、特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . 造影法の適応を説明できる。
- * 3 . 造影剤の副作用とその対策を説明できる。
- 4 . 検査の概要について患者に説明できる。

[核医学検査]

- * 1 . シンチグラフィを列挙し、特徴と原理の概要を説明できる。
- * 2 . シンチグラフィの適応を説明できる。
- * 3 . SPECT (シングルフォトンエミッション断層撮影法)、PET (ポジトロンエミッション断層撮影法) の特徴と原理の概要を説明できる。

4. 検査の概要について患者に説明できる。

[IVR]

* 1. IVR の特徴と概要を説明できる。

[内視鏡検査]

* 1. 内視鏡検査の特徴と概要を説明できる。

(3) 歯・口腔顎顔面領域の画像診断

一般目標

適切な歯科医療を行うために、歯・口腔顎顔面領域の画像診断能力を修得する。

到達目標

[画像診断総論]

- * 1. 画像情報を抽出し、解釈できる。
- * 2. 画像所見の基本的表現を説明できる。
- * 3. 画像所見を記述し、画像診断ができる。
 - 4. 鑑別診断を列挙できる。
 - 5. 画像診断を患者に説明できる。

[正常画像解剖]

- * 1. 口内法およびパノラマエックス線像における解剖構造を説明できる。
- 2. 顎顔面頭蓋部エックス線検査、CT、歯科用コーンビーム CT、MRI における主な解剖構造を説明できる。
- 3. 歯・口腔顎顔面領域疾患に関連する全身の画像検査における解剖構造を概説できる。

[歯と歯周組織の疾患]

- * 1. 齲蝕のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 2. 歯周疾患のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 3. 根尖病変のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 4. 歯の形態や構造の異常のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 5. 歯と歯周組織の外傷のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。

[口腔顎顔面領域の疾患]

- * 1. 病態と部位に応じた画像検査法を選択できる。
- * 2. 顎骨の炎症のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 3. 骨折のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 4. 顎骨の嚢胞、良性腫瘍および類似疾患のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 5. 悪性腫瘍のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。

- * 6 . 上顎洞疾患のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 7 . 顎関節疾患のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- * 8 . 唾液腺疾患のエックス線像を解釈し、画像診断ができる。
- 9 . 口腔顎顔面領域疾患の各種画像所見を解釈できる。

[口腔インプラントの画像診断]

- * 1 . 口腔インプラントに関する各種画像所見の特徴を説明し、エックス線像を解釈できる。

[全身と関連する画像診断]

- * 1 . 歯と顎骨の加齢変化における各種画像所見の特徴を説明できる。
- * 2 . 歯と顎骨に関連する症候群の各種画像所見の特徴を説明できる。
- * 3 . 薬剤に関連する顎骨病変の各種画像所見の特徴を説明できる。
- 4 . 代謝・内分泌疾患による歯と顎骨病変の各種画像所見の特徴を説明できる。
- 5 . 摂食・嚥下障害の各種画像所見の特徴を説明できる。

(4) 口腔顎顔面領域悪性腫瘍の放射線治療

一般目標

口腔顎顔面領域悪性腫瘍の放射線治療および治療患者の口腔管理の重要性を認識するために、放射線治療の基礎と実際を理解する。

到達目標

[放射線腫瘍学の基礎]

- * 1 . 放射線感受性と生物学的効果の概要を説明できる。
- 2 . 放射線の治療効果と悪性腫瘍の大きさ、発生部位、進展度、分化度および患者の全身的要因との関連について説明できる。

[放射線治療の実際]

- * 1 . 放射線治療の意義と目的を説明できる。
- 2 . 放射線治療の種類と特徴を説明できる。
- 3 . 併用療法の特徴を概説できる。
- 4 . 各種放射線治療の適応を説明できる。
- 5 . 治療成績に影響を及ぼす要因を説明できる。
- 6 . 放射線治療の副作用（有害事象）、予後および QOL の概要を説明できる。

[放射線治療患者の口腔管理]

- 1 . 治療前の口腔管理を説明できる。
- 2 . 治療中の副作用（有害事象）に対する口腔管理を説明できる。
- 3 . 治療後の副作用（有害事象）に対する口腔管理と歯科治療を説明できる。